

「団体間で協働して取り組む事業のテーマ(案)」について

各団体から提出された内容

各団体から提出された内容をもとに事務局がイメージとして作成

提案団体	番号	テーマ(案)	提案理由	想定される取組(案)	想定スケジュール(案)		想定される連携団体と役割(案)
					H25	H26	
東北経済連合会		団体旅行誘致による仙台空港誘客促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>仙台空港の民間運営委託を契機とした空港及び空港周辺地域の活性化に県が先頭に立って取り組んでいる。</li> <li>今年3月には「仙台空港及び空港周辺地域の将来像」を策定し、乗降客数600万人を目標に掲げている。</li> <li>この目標実現を図るには、確実な旅客需要の確保や航空機材の大型化につながる団体旅行の誘致が最も効果的と考えられることから、今回関係機関の既存事業や新たな対応策等を検討するため提案したものの。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道や関西等からの教育旅行の誘致</li> <li>海外企業の報奨旅行・研修旅行であるインセンティブ・ツアーの誘致</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元受入体制の整備(語り部リスト等整備など)</li> <li>観光資源と震災研修を組み合わせたモニターツアーの企画</li> <li>各種関係者が一体となった誘致活動</li> <li>航空会社との調整</li> <li>旅行商品造成の働きかけ</li> <li>日系企業とのパイプづくり</li> <li>県内協力企業掘り起こし</li> <li>県内工場研修と震災研修を組み合わせたモニターツアーの企画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誘致活動の継続</li> <li>教育旅行の実施</li> <li>海外旅行展への出展等プロモーション活動</li> <li>ツアーの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東経連/東北観光推進機構</li> <li>広域連携調整</li> <li>県観光誘致協議会</li> <li>旅行会社とのツアー企画調整</li> <li>仙台商工会議所(促進協)</li> <li>PR活動</li> <li>宮城県</li> <li>誘致活動</li> <li>航空会社との調整</li> <li>各種調査</li> <li>東経連/東北観光推進機構</li> <li>広域連携調整, パイプづくり</li> <li>県観光誘致協議会</li> <li>旅行会社とのツアー企画調整</li> <li>宮城県</li> <li>協力企業掘り起こし</li> <li>プロモーション活動</li> </ul>
宮城県商工会連合会		継続的なプロモーションによる風評被害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光は、宿泊業、輸送業、飲食業、農林水産業等極めて裾野の広い産業であり、その経済効果や雇用効果は非常に大きいですが、震災以降、東京電力福島第一原子力発電所事故の風評被害等により県内の観光は大きな影響を受けている。</li> <li>現在、2回目の「仙台・宮城destinationキャンペーン」が開催され、4月の宿泊観光客及び入込観光客ともに、昨年に比べて増加するなど効果が現れているが、一過性な取組に終わらぬよう今後も継続的にプロモーションにしていく必要があり、提案したものの。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「みやぎの観光復興」の継続的な観光宣伝</li> <li>中部以西からの誘客(仙台空港への就航地からの誘客活動の実施)など</li> <li>キーワードは「LCC」と「F.I.T(個人旅行)」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポストDCの実施</li> <li>誘客PRの実施</li> <li>仙台空港600万人・5万トン実現サポーターとの連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポストDCの実施</li> <li>誘客PRの実施</li> <li>仙台空港600万人・5万トン実現サポーターとの連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャンペーン協議会</li> <li>ポストDCの実施</li> <li>仙台空港国際化利用促進協議会</li> <li>誘客PR活動</li> <li>宮城県</li> <li>サポーターとの連携調整</li> </ul>
宮城県農業協同組合中央会		県内一丸となった国内外からの消費需要等の呼び込みによる復興	<ul style="list-style-type: none"> <li>復興の進度について、地域・業種間格差が広がりつつあり、「風化」の問題が出てきている。</li> <li>そのため、県全体で復興の機運を醸成していく必要があることから、県内の各団体が一丸となって、国内外からの観光・消費需要を呼び込む企画の検討を提案したものの。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『復興の追い風』となるような新たな「商品・サービス」の企画・開発</li> <li>既存商品の改良による海外への販路開拓支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品等コンテストの企画</li> <li>マーケティング調査の実施(シーズ、ニーズ)</li> <li>実施主体掘り起こし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品コンテストの実施</li> <li>企業掘り起こしによる商品アイデアの具現化</li> <li>商品・サービスの販売</li> <li>商品等改良</li> <li>試験的海外販売</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各団体による合議体</li> <li>商品コンテストの企画・実施</li> <li>宮城県</li> <li>商品具現化企業掘り起こし(食商課)</li> <li>県食品輸出促進協議会, JETRO仙台</li> <li>海外販売支援</li> <li>宮城県</li> <li>マーケティング調査</li> <li>実施主体掘り起こし</li> <li>商品改良支援(産技センター)</li> </ul>